



全国芽生会連合会

NO. 9

2024. 3. 13

ホームページ : <https://mebaekai.com/>

『令和6年度第1回理事会』

令和6年2月8日（木）萬松館 岐阜市大宮町2-18（岐阜公園内）

2月8日（木）に昨年度と同様、五百木理事長の地元である岐阜市の萬松館にて「令和6年度第1回理事会」が理事長以下、副理事長、役員、理事の総勢41名の出席者にて執り行われました。

五百木理事長より、能登半島地震にて被災された方々へのお見舞いの言葉、昨年開催した各ブロック会議、及び八戸開催の全国大会、徳島開催の和食の祭典について、理事長就任一年間の芽生会活動を振り返り、世代交代の波の中、会員増強を念頭に若者の環境づくりを進めることが必要であり会員がアップデート出来る会でありたいと挨拶されました。

第69回全国芽生会連合会八戸大会の謝辞を八戸芽生会の竹中亨考会長、続いて和食の祭典 in 徳島の謝辞を徳島芽生会会長の清水康平会長が述べられ、その後、八戸大会時に秋田県地方の大雨被害に対しての支援金の一部を秋田魁新報社に寄託したことについて秋田芽生会の雑賀会長から御礼と報告がありました。

続いて議事に移り、昨年度の決算報告、今年度の事業計画、収支予算の発表を行い満場一致で承認されました。

第70回全国芽生会連合会京都大会について田中実行副委員長から大会日程と概要の説明、今大会の申し込み方法はDXを活用するとの発表があり、また絆プロジェクト「和食の祭典」開催地の神奈川芽生会の角田会長より開催日と会場、昼間に開催との報告があり、事業検討委員会もバックアップを継続して開催方法を協議していくと五百木理事長より確認されました。

事業検討委員会の湧井委員長より昨年度の活動報告、そして会員間の連絡網はDX活用を推進して、情報伝達ツールへの登録、末端の会員の皆さんにも登録をお願いしたいと発表がありました。

五百木理事長は能登半島地震の支援活動に取り組むことも発表されました。我々の生業である「食」で支援していくこと、金沢芽生会から現地情報を確認しながら協議していくことも確認されました。

また次期理事長に金沢芽生会会長の土屋兵衛氏が内定しました。任期は令和7年（2025年）から2年間。

令和6年度が慌ただしくスタートしました。課題は沢山ありますがひとつひとつ取り組みながら前進して事業を行って参ります。引き続き1年間、よろしくお願い申し上げます。



『懇親会』

鵜匠の家 すぎ山 岐阜市長良川畔長良73-1

理事会終了後、「鵜匠の家 すぎ山」に移動して、懇親会を行いました。名物「特選天然鴨料理 宮内庁御狩場焼」で舌鼓を打ち、会員同士の懇親を深めました。閉会時には京都芽生会の左副会長より全国大会への意気込みが語られ、最後は今年度の邁進を祈念して五百木理事長の「三本締め」で第1回理事会を終了致しました。多数の方々にご参加いただきありがとうございました。



担 当：五百木 健次